

あまこだ新聞 ありんこ 1 月号

謹んで新春のご挨拶を申し上げます。皆様、旧年中は誠にありがとうございました。本年もどうぞよろしくお願い致します。

昨年は、悠仁様ご誕生や、サッカーW杯ゴジカパン1次リーグ敗退、夏の甲子園では「ハンカチ王子」人気、中日2年ぶり7度目のリーグ優勝、トリノ五輪では荒川静香選手の金メダル等と様々な出来事がありました。2007年は、どんな出来事があるのか...楽しみですね。

最後に皆様の「ご健康とご発展」を祈念しまして、年頭の挨拶と致します。



一月一日
明治26年
作詞 千塚尊福
作曲 上真行

1 年の始めの例として
終なき世のめでたきを
松竹たてて門ごとに
祝う今日こそ 楽しけれ

2 初日のひかりさしこいで
四方に輝く今朝のまら
君がみかげに比えつつ
仰ぎ見るこそ 尊はけれ



おせち料理知識

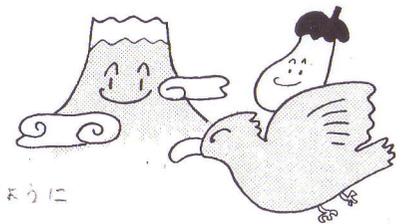
おせちという呼び名は「お節供(おせちく)」の略称で、またの名を「節供」「節会」「御用」ともいいます。これは1年のうちの重要な神様祭りの日のことを指しており、この日は、その町々に決められた食べ物をお供えにします。そして、そのお下がりをいただき、神様の恩恵にあゆみます。

おせちの歴史は、古くは平安時代にはさかのぼります。平安時代の神前にお供物をしてきたのが「お節供料理」と呼ばれており、おせちのことばの起りです。

新たな暦がはじまるお正月には、「今年の夜事が豊かにかりまわらう」と願いを込めて、おせち料理を食べる文化が現代にも続いているです。

おせち料理の名前の意味

- 黒豆 ... まめ(健康)に暮らせるように
- 数の子 ... 子孫繁栄
- 田作り ... 豊年豊作祈願
- 昆布 ... よろこび
- かぶり ... 勝つ
- 魚 ... めでたい
- 里芋 ... 子宝にめぐまれるように
- 栗金団 ... 黄金色が豪華に見えるため



みなさん、いくつか「ご存じ」でしたか? 楽しんで「おせち」を食べて下さいね 00